



ひょうご農業法人 GUIDE BOOK



私たち、農業でやりがいを見つけました!

兵庫県農業経営法人化推進協議会



家業から企業へ、農業の新しいカタチ

企業として農業を営む「農業法人」。家業として受け継がれてきた農業を法人化したり、企業が他産業から農業に参入するなど、さまざまなケースでの農業法人が増えています。

企業経営の中で、経営方法や働き方などが大幅に見直され、
多様な人がともに働く職場として、農業法人が注目されています。

Vol.1、Vol.2に続き、この冊子では兵庫県内で奮闘している「旬」な農業法人の一部を紹介します。

C O N T E N T S

摂津

神戸市西区	農事組合法人 うすなが農畜産組合	畜産	2
神戸市西区	株式会社 トーホーファーム	野菜	3
神戸市西区	株式会社 東馬場農園	野菜	4
神戸市北区	有限会社 ベコ	畜産	5

播磨

明石市	橋本農園 株式会社	野菜	6
加古郡播磨町	兵神機械工業株式会社 兵神ファーム	野菜	7
小野市	北山農産 有限会社	土地利用	8
たつの市	株式会社 フジ工房 新千農園	土地利用	9
赤穂郡上郡町	株式会社 N.G.C.	畜産	10
赤穂郡上郡町	有限会社 レイ	畜産	11

但馬

豊岡市	有限会社 植田農園	土地利用	12
豊岡市	有限会社 グリーンいずし	土地利用	13
豊岡市	株式会社 Teams	野菜	14
豊岡市	中谷農事組合法人	土地利用	15
養父市	株式会社 Amn a k	土地利用	16
養父市	株式会社 トーヨー養父農業生産法人	野菜	17
養父市	株式会社 緑の風農場	野菜	18

丹波

丹波篠山市	農事組合法人 丹波たぶち農場	土地利用	19
丹波市	株式会社 耕す丹波農場	野菜	20
丹波市	ひょうたん農場 株式会社	土地利用	21

淡路

洲本市	S D F 株式会社	畜産	22
洲本市	有限会社 新家青果	野菜	23
南あわじ市	株式会社 A & H	野菜	24
南あわじ市	有限会社 三田青果	野菜	25
淡路市	株式会社 淡路の島菜園	野菜	26
淡路市	株式会社 池上農場	野菜	27
淡路市	株式会社 金岡光輝園	花き	28
淡路市	株式会社 K.ファーム	野菜	29
淡路市	株式会社 フレッシュグループ	野菜	30



事業内容

但馬牛の生産・肥育請負、農産物の生産・販売、牧草(稲わら)の生産・販売

主な産品

- 但馬牛
- 米
- 牧草(稲わら)



こだわりPoint

耕畜連携を実践しており、畜産で出たたい肥を稲作の肥料とし、稲作で出た牧草(稲わら)で牛を育てています。



グループ会社が経営している焼肉店(神戸牛WASSIA)



岩岡繁殖農場で生まれた子牛



神出肥育農場では肥育請負も含め常時160頭を肥育

スタッフ Interview

碓永 芳輝さん(24歳)

2018年に入社して3年目、牧場統括責任者として全ての牛の管理を任されています。神出肥育農場は将来的には独立したいという牛飼いが集まって、力を発揮できる場にしたいと考えています。例えば自分の牛を何頭か持ち、この中で場所を借り、それぞれの牛を肥育するのです。牛飼いは独立するには経済面などでハードルが高いので、神出肥育農場を整備して、新しい形の牧場を目指しています。

神戸生まれ神戸育ちの神戸ビーフ 純但馬うすなが牛、機械化、マニュアル化して効率良く但馬牛を生産

2018年に法人化した「うすなが農畜産組合」は、2019年には肥育を行う「神戸うすなが牧場神出肥育農場」をスタートさせ、繁殖から肥育までの一貫生産に。稲作も行い、耕畜連携を実践。グループ会社に焼肉店、商社を設立しており、牛肉の生産から販売までを一貫して手掛け、海外輸出も視野に入れています。「マニュアル通りにすれば、誰でも同じような神戸ビーフを作れるようにしたい」と、牛の管理は機械化・マニュアル化して効率アップ。神戸ビーフの中でも自社ブランド「純但馬うすなが牛」として、差別化を狙います。

トップ Message

一人一人の牛飼いの夢が実現する職場に

代表理事

碓永 嘉彦さん

これからは儲かる企業として、畜産のイメージを覆し、普通の企業と同じような雇用環境を実現したいと思っています。すでに焼肉店や商社などの6次産業化の展開も始めています。将来自分で牛を持ちたいと独立意欲のある人や、志の高い人、一緒に働きましょう。専門的に畜産の勉強をしていない人も歓迎します。



所在地

〒651-2404 神戸市西区岩岡町古郷887
(神戸うすなが牧場岩岡繁殖農場)

〒651-2304 神戸市西区小束野16
(神戸うすなが牧場神出肥育農場)

TEL/FAX

TEL.078-959-8638 FAX.078-959-8638

設立

2018年9月

資本金/売上高

300万円/1200万円

従業員数

社員1人、パート2人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
独立就農支援あり
一人一人の働く姿勢に合わせた勤務体制を考慮
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



事業内容

農産物の生産・加工・仕入れ・販売

主な作物

- 葉物野菜(はくさい、こまつな、ほうれんそう、キャベツ、みずな、ねぎ)
- 根菜類(たまねぎ、だいこん、ジャガイモ)
- 業務用カット向け野菜



こだわりPoint

化学肥料・農薬の使用を極力減らした安心・安全な野菜を、グループ会社の物流網を生かして素早く消費者に届けています。



神出町のほ場とハウス



スタッフ Interview

村井 正志さん(22歳・写真左)

高校のときにここで職業体験をして、体を動かすことが好きな自分にはいい仕事だと思い、2016年4月に入社しました。午前中は加工の仕事、午後は畑に出て農作業をしています。自分で作ったとうもろこしを収穫して食べたとき、とても甘くて、農業をしている喜びを感じました。

中村 龍さん(32歳・写真右)

兵庫県立農業高校・農業大学校を卒業後、農業法人に就職。縁があって2018年4月に当社に入社しました。野菜の栽培を極めたいという思いを持って、日々作業しています。独立希望は全くなく、栽培の責任者としてやりがいを感じています。グループ会社の強みも多く、働きやすい職場です。

安心・安全な野菜をグループ会社のスーパーの店頭へ 新鮮野菜を地域ブランド「かんで野菜」として展開

食に関する事業を展開する「トーホー」が、安心・安全な農産物の提供と地産地消の推進を目的に「トーホーファーム」を設立。神戸市西区神出町にあるほ場とハウス(計6.2ヘクタール)では、化学肥料・農薬をできるだけ削減して根菜や葉物野菜を栽培。これまで13品目がひょうご安心ブランドの認証を受けています。近隣の農家で作られる野菜も集荷し、グループ会社のトーホーストアへ出荷。グループ会社ならではの物流網を生かして、収穫後24時間以内に店頭へ並ぶ野菜を、地域ブランド「かんで野菜」として展開しています。

所在地

〒651-2304

TEL/FAX

神戸市西区神出町小束野53-81

設立

TEL.078-965-2832 FAX.078-965-2831

資本金/売上高

2010年12月

従業員数

1000万円/1億5000万円

雇用環境

社員2人、パート15人

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休2日制(日曜+1日・シフト制)、休日115日
研修制度・人事評価制度あり

インターンシップ 随時受付

トップ Message

グループの強みが生きる会社

代表取締役社長

黒崎 泰司さん

グループ会社のスーパーで、どの店舗でどの野菜が売れているか、売れ筋を見定めて各店へ納品する野菜を決めています。このように消費者に近い立場で野菜の栽培ができるのが、我が社の強みです。ほかに業務用カット向け野菜の栽培にも取り組んでいます。チャレンジ精神を持っている人なら、自分の技術を磨くことができると思います。





事業内容

農産物(トマト、いちご、米)の
生産、販売

主な作物

○トマト

○いちご

プライベートブランド
「うれしおとまと」「う
れしおいちご」として
販売



こだわりPoint

大阪・神戸の消費地に近い立地を生かし、*嬉しい
おいしいを農園から食卓へ。をモットーに、完
熟したトマト、いちごを収穫してすぐに消費者へ
届けています。



国道176号に近くにハウスがあり、直売所を開設

スタッフ Interview

藤崎 智佳さん(35歳・写真左)

大学農学部で養液栽培を学び、食品会社を経て、2016年3月に入社。30歳を機に就農を考えました。今はハウスの管理と労務管理を任されています。週に1度、責任者による検討会があり、植物の状態などの意見交換をします。教わることも多く、勉強になります。これからも会社の中で自分の力を発揮していきたい。

木村 匡佑さん(36歳・写真右)

運送業からの転身です。農業に興味があり、法人化のタイミングで入社し、就農しました。栽培技術を基礎から教えてもらいました。学んだことを試しては、「こうすればこうなるんだ」と日々新しい発見があり、おもしろい。今は施工部門の責任者です。完全週休2日など良い待遇だと思います。

京阪神の消費地に近い立地を強みに 栽培技術を高め農業を魅力的な産業に

中国自動車道西宮北ICのほど近く、「東馬場農園」は20アールと40アールのハウスで、トマトを周年栽培。2019年から20アールのハウスで、いちごの栽培を始めました。消費地に近い立地を生かし、生産技術を高めて収穫量を上げ、農業を魅力的な産業に変えることが、代表取締役の東馬場 怜司さんの思い。栽培管理は数値化・データ化し、環境を自動制御。価格を抑えながら味の良いトマトを提供するため、ポテンシャルの良い品種を常に見つけるなどの工夫を続けています。トマトは関西圏のスーパー、JA直売所、自社の直売所で販売しています。

トップ Message

一般企業のサラリーマンと同じ雇用環境に

代表取締役

東馬場 怜司さん

働いてもらうからには、給与面も含めて、一般企業のサラリーマンと変わらない環境を整えたい。10アール当たり40トンと高いトマトの収穫量が見込めるようになり、収益も増えました。近い将来はいちご狩りも展開する予定なので、農業に興味がある人はもちろん、人と接することが好きな人も楽しい職場です。



所在地

〒651-1502

神戸市北区道場町塩田690

TEL/FAX

TEL.078-203-6747 FAX.078-203-6747

HP

<http://higashibaba-noen.com/>

設立

2014年3月

資本金/売上高

100万円/1億1000万円

従業員数

社員3人、パート13人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
人事評価制度、独立就農支援あり
水・日曜の週休2日制。夏季休暇(10日)あり
休憩室あり
家賃の補助制度あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

ホルスタイン(去勢牛)の肥育、販売
牛糞堆肥販売

主な産品

○枝肉
○牛糞堆肥



こだわりPoint

ホルスタイン去勢牛を健康的に育て、赤身のおいしくてやわらかい肉を供給しています。



おがくずを敷料にした飼育牛舎



スタッフ Interview

藤池 征夫さん(77歳・写真左)

公務員でしたが定年後、およそ13年間ボランティアで週に1回この牧場に来ています。無料で牛糞堆肥をいただくお礼です。以前は餌やりなどのお手伝いもしていました。今は機械化されたので、出荷時の牛追いだけ手伝っています。

西 龍治さん(63歳・写真右)

食に関する会社を経営しており、そのための勉強も兼ねて、週1回1時間程度ボランティアでお手伝いをしています。出荷時の牛追いは体を大きく広げて声を出すのがコツ。そのほか牛の角切りや獣害対策、繁殖農家のセリに同行させてもらうこともあります。この牧場で学ぶことは多いです。

ホルスタイン去勢牛400頭を飼育
やわらかくておいしい赤身肉に

ホルスタイン去勢牛400頭、黒毛和牛9頭、交雑種4頭、ジャージー牛1頭を肥育している「べこ」。「この牧場が家族経営でやれる最大規模」と、牛の管理をするのは代表取締役・村上剛史さんと父親の二人。出荷時の牛追いのために、週1回ボランティア2人が手助けします。鳥取県・岡山県から生後6カ月の子牛を仕入れ、12カ月飼育して出荷。2019年からは生後50日の子牛の導入・哺育も始めました。健康管理の徹底と、市販の配合飼料に乾草などを混ぜた独自の飼料、ミネラルを除去した地下水で育てることで、やわらかくておいしく、旨みのある赤身肉になります。

トップ Message

愛情を持って牛に声かけ

代表取締役

村上 剛史さん

8メートル四方に12頭の群飼育を行い、扇風機を24時間稼働させて、快適な環境に。ストレスを与えず、健康ですくすく育つように牛の世話をし、安心・安全な肉を提供するのが仕事です。愛情をもって見守り毎日声をかけていると、牛は温厚な性格になりますよ。牛が好きで将来の独立を目指したい人に向いている職場です。



所在地

〒651-2312

TEL/FAX

神戸市西区神出町南619-6

H P

TEL.078-965-2508 FAX.078-923-9032

設立

https://bekofarm.jp/

資本金/売上高

1990年11月

従業員数

300万円/1億8000万円

雇用環境

ボランティア2人

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり

週休1日

休憩室・寮あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

いちご、野菜類の栽培および販売

主な作物

- いちご
 - ・おいCベリー
 - ・章姫(あきひめ)
 - ・紅ほっぺ
 - ・星のきらめき
 - ・やよい姫



- キャベツ、ブロッコリー、
レタス、スイートコーン、
枝豆などの野菜

こだわりPoint

60年の歴史を持つ「清水いちご」は品質の良さから天皇陛下に献上したことも。暖房などを使わない自然に近い状態の土耕栽培にこだわり、「完熟」のおいしさを提供しています。



「おいCベリー」など、
大粒のいちごが大人気



12月～5月、週3日限定で
自社直売所を開設



なだらかな丘陵地帯にハウス20棟を配置

スタッフ Interview

松本 竜一さん(25歳)

兵庫県立農業高校造園科で学び、農耕用大型特殊免許を取得。卒業後に造園関係の会社に勤めていましたが、橋本さんと同じ地元消防団の縁で2018年5月に入社しました。今は育苗・播種から始まる露地野菜の栽培をひとつずつマスターするために、毎日指導を受けながらがんばっています。農業は難しい反面、達成感もひとしおです。早く一人前になって会社に貢献したいです。

土耕栽培や出荷時期にこだわり 「清水いちご」を名ブランドに育て上げ躍進

清水地区の日照時間の長さや良質な地下水を活かし、祖父の代に始まった「橋本農園」のいちご栽培。昭和30年代、兵庫県生まれの品種「宝交早生(ほうこうわせ)」に「山上げ栽培」を導入、もともと春出荷だった収穫時期を2月頃に早めることに成功しました。その後も改良を重ね、国内で初めてクリスマス用いちごの出荷を可能にしました。土からの栄養分を吸収させるハウスの土耕栽培にこだわり、完熟させたものだけを出荷するいちごは大粒で甘みが強く、味に深みがあると評判です。自社直売所や地元周辺のJA直売所でしか手に入らない「清水いちご」は、「オンリーワン」ブランドとしてその価値をますます高めています。

所在地

〒674-0074

明石市魚住町清水1319

TEL/FAX

TEL.090-9055-0415 FAX.078-942-2432

設立

2015年8月

資本金/売上高

500万円/3000万円

従業員数

社員1人、パート6人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり

インターンシップ

随時受付。

※兵庫県立農業大学生の受け入れ実績あり

トップ Message

一番おいしい時に消費者に届けることを大切に

代表取締役

橋本 竜介さん

私たちがつくる「清水いちご」は、一般的なハウス栽培に比べて倍の労力がかかりますが、「新鮮でおいしいものを食べてもらう」ことが生産者として最も大切だと考えています。作物はJA直売所を中心に「個選出荷」に切り替え、新鮮さと収益増につなげています。農業において仕事の成果はすぐには出ません。あきらめず、意欲のある人材を求めます。一緒に「清水いちご」をさらに発展させていきましょう。



加古郡播磨町

へいしん 兵神機械工業株式会社 兵神ファーム



事業内容

水耕栽培装置の製造販売
自社栽培作物の販売

主な作物

- ベビーリーフ、チンゲンサイ、ミニセロリ、サンチュ、水菜など葉物野菜約20種類
- 水稻（ミルクワイーン）



こだわりPoint

農業未経験でも導入できる装置だからこそ、栽培などの相談に答えるサポート体制を徹底しています。また、実績に基づいた確かなデータを提供するため、自社設備で野菜を栽培。「兵神ファーム」は2019年、JGAP認証を取得しました。



スタッフ Interview

農工部 営業係主査

澤田 愛子さん(33歳・写真左)

2014年に入社しました。「水耕栽培って何？」と言っていた私ですが、今では「オンディーネVH」の良さを一人でも多くのお客様に知っていただきたいとの思いで営業しています。「未経験の人でも農業に対して夢を持ち、将来を描いてもらえるようになること」を自分のミッションとして取り組んでいます。

農工部 栽培係

中井 さや香さん(25歳・写真右)

2017年に入社しました。大学農学部では園芸学を専攻し、学んだ専門知識や栽培技術が生かせる仕事であることや、機械メーカーなのに将来性のある農工連携に取り組んでいることに魅力を感じています。夏場に順調にほうれんそうを栽培する方法の研究など、目指した成果が得られた時はうれしさも格別です。

新規就農を目指す人や新規参入法人に好評 低コスト水耕栽培で農業の未来に貢献

船舶用ポンプや油水分離器等の海洋環境製品の専門メーカーとして90年の歴史をもつ「兵神機械工業」。「日本の農業をもっと元気にしたい」との思いから、水(流体)の専門家ならではの技術力を生かした水耕栽培装置を開発。2012年に水耕栽培システム「オンディーネVH」を製品化しました。初期投資が安く、農業未経験でも安心して導入できる自動管理システムや充実したサポート体制が高く評価され、新規就農者はもちろん、異業種企業からの引合いも増えています。誰でも「安心、安全でキレイな野菜」を生産できるオンディーネによる“魅力あふれる農業”が全国に広がりを見せています。

トップ Message

チーム一丸となって新たな農業のスタイルを提案

農工部 部長

中平 吉男さん

“人間力を高め、信用第一で社会貢献する”という当社の経営理念のもと、農工部では栽培の研究やお客さまサポートに日々、取り組んでいます。「営業」「栽培」「組立」と3つの係がありますが、お互い連携しながら農業の情熱あふれる1チームでがんばっています。自分なりの目標を持って仕事に真摯に向き合い、どんなことにも一生懸命取り組む人を歓迎します。



所在地

〒675-0146

加古郡播磨町古田1丁目5-30

TEL/FAX

TEL.079-436-3001 FAX.079-436-3015

H P

<https://hsn-farm.com/>

設立

1929年12月

資本金/売上高

9,500万円/32億7000万円(2019年9月期・全社)

従業員数

150名(全社)

雇用環境

兵神ファーム:18人(社員15人、パート3人)
社会保険(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり、住宅手当・寮・短時間勤務制度(育児・介護)等あり、ほかに資格取得支援、海外英語研修制度なども。

インターンシップ

随時相談に応じます

(農業高校生の実績あり)

※新規就農を検討している人向けの見学会は月3回実施中。詳細はHPで確認を



企業ホームページ



事業内容

水稻、野菜、豆類の栽培

主な作物

〇うるち米
ミルキーQueen・コシヒカリ・ヒノヒカリ・あきだわら・山田錦
〇もち米
ヤマフクモチ、ヒヨクモチ
〇アスパラガス・キャベツ等の野菜、小豆・黒大豆等の豆類



こだわりPoint

品質のいい物をつくるために、毎年栽培方法を見直しながら取り組んでいます。作物の栽培期間を効率良く組み合わせ、農作業の平準化と年間を通じて一定の収穫量を確保しています。



ハウスではJA兵庫みらいに出荷する「みらいちゃんアスパラ」を栽培

スタッフ Interview

池田 陽さん(26歳・写真左)

大学農学部では訪花昆虫の研究をしていましたが、兵庫県主催の就農希望者向けセミナーで北山社長と出会ったのがきっかけで、2017年に新卒入社しました。農業を続けていくには栽培だけでなく、経営や環境面など各分野の幅広い知識が必要だと考えています。明石市から毎日通って働いていますが、この地の美しい景観を守っていきたくです。

澤井 健一さん(50歳・写真右)

会社員として約20年間食品スーパーに勤めていましたが、「農業」というもののづくりに関わる仕事に将来性を感じて2013年に入社しました。農作物は手をかけた分、正直に答えてくれるところにやりがいを感じています。

大規模経営により効率を追求
コメを主体に各種作物を幅広く栽培

小野市内を流れる加古川の西部に田園が広がる「河合地区」に北山農産の圃場があります。経営面積は現在約40ha。水稻30ha(うち、山田錦16ha)や豆類、露地栽培の各種野菜、ハウスのアスパラガスなど幅広く作物を栽培しています。

会社員だった北山社長が、親から農業を引き継いだ1996年当時に14haの経営面積だったものが、地域の農家の高齢化により年々拡大。コメを主体に多様な作物を手がけることで、少人数で効率よく大規模経営を行っています。将来、集落営農組織を立ち上げ、大規模農家と連携をとりながら地域農業を守ろうと思っています。

トップ Message

何事も前向きに取り組める人材を求めます

代表取締役

北山 高秀さん

当社があるこの地域は大規模経営に適した恵まれた土地です。多様な作物にチャレンジしながら、今後も増えていくことが予想される耕作地に対応した栽培の効率化を目指しています。農業に真剣に向き合う前向きな若者を歓迎します。「残業はしない、休む時はしっかり休む」。一緒に収穫の喜びを味わいましょう。



所在地

〒675-1358
小野市粟生町1728

TEL/FAX

TEL.0794-66-2953 FAX.0794-66-2954

設立

2003年1月

資本金/売上高

300万円/5000万円

従業員数

社員2人

雇用環境

社会保険・健康保険あり、土・日休み、
残業無し(勤務時間8時～17時)

インターンシップ

随時受付

※県立農業大学校の短期研修(40日)実績あり



事業内容

水稻、野菜、豆類の栽培

主な作物

〇うるち米(特別栽培米)
ミルキープリンセス、コシヒカリ、ヒノヒカリ、ササニシキ、はいごころ(胚芽米)
〇九条ねぎ、じゃがいも、大豆、黒大豆



こだわり Point

粘りが強く甘味があり、冷めても硬くなりにくい「ミルキープリンセス」や「姫ごのみ」を自社ブランド「夢はりま」として商標登録。毎年残留農薬検査を欠かさず行っています。



「九条太ねぎ」はヒガシマル醤油「うどんスープ」の原材料に



神戸の産直店舗に新米がズラリと並びます

人と自然にやさしい農業を貫き 有機肥料100%の特別栽培米で信頼を獲得

「フジ工房 新千農園」では、「ミルキープリンセス」など経営耕地の約9割を占める水稻栽培のすべてが有機肥料100%・残留農薬不検出の特別栽培米を生産しています。担い手不足から地域の休耕田を任されることが増え、現在の経営面積は約30ha。「ひょうご安心ブランド」の認証を受けた特別栽培米は阪神間の産直店舗やたつの市の給食、姫路・神戸などの介護施設に出荷。ネット販売も毎年完売し、その高い品質が評価されています。ヒガシマル醤油の契約栽培としてはじめた「九条太ねぎ」や輪作栽培のじゃがいもなど、経営拡大のための新たな取り組みも進めています。

スタッフ Interview

大田 浩誉さん(35歳)

2017年に家族3人で姫路から移住し入社しました。学生時代に藤本社長と知り合ったのが縁です。会社員を7年経験しましたが、今では農作物を育てるという「人に喜ばれるものづくり」にやりがいと誇りを感じています。周囲の人たちもとても親切で、子どもたちの成長を楽しみに仕事に励んでいます。

所在地

〒679-4346

TEL/FAX

たつの市新宮町千本717-1

TEL/FAX

TEL.0791-60-1424 FAX.0791-75-3424

H P

<http://www.fuji-koubou.com/>

設立

2017年3月

資本金/売上高

300万円/4,500万円

従業員数

社員1人、契約社員1人、パート4人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
休憩室・キッズルームあり、就業規則完備

インターンシップ

随時受付。宿泊も可能。
詳細は問い合わせを



企業ホームページ

トップ Message

働きがいのある“農業”の職場で担い手を育成

代表取締役

藤本 俊祥さん

人と自然にやさしい農業をという思いで、ヘアーベッチ緑肥などによる有機肥料100%栽培、残留農薬不検出の米づくりを行っています。当社がある新宮町栗栖地区は年々休耕田が増加していますが、地域住民のつながりが強く、移住にも適したこの地で農業を守る次世代の担い手を育てていきたいと考えています。週休2日制など就業規則を明確に定め、働き手の目線で職場環境を整えています。





事業内容

採卵鶏(レイヤー)の養鶏(育雛、育成)

主な産品

生まれたばかりのヒヨコ
を120日間育成し、採卵
養鶏場へ年間約600万
羽出荷



こだわりPoint

「基本に忠実な飼育管理」を理念に掲げ、新技術
を積極的に導入。ワクチネーションやデータ活用
の徹底により高品質な採卵鶏を安定供給してい
ます。



本社赤穂農場空撮



スタッフ Interview

赤穂農場 飼育管理課

竹内 美乃莉さん(26歳・写真左)

2015年に入社しました。小さいころから動物が好きで、友人から勧められたのがきっかけです。約10万羽を育成する鶏舎を1人で担当し、ワクチン接種や採血なども行うので大変ですが、元気に育った鶏が出荷されると達成感があります。福利厚生面が充実していて、人間関係も良いのでとても働きやすい職場です。

赤穂農場 飼育管理課

小林 香月さん(24歳・写真右)

大学ではスポーツトレーナーを目指していましたが、もともと畜産や酪農の仕事に興味があり、2019年に新卒入社しました。各種データの収集や飼料の発注など、若くても責任のある仕事を任せられ、自由に意見が言える職場にやりがいを感じています。主体性があり、自立した女性になることが目標です。

鶏を育てる、人を育てる 徹底した品質管理で100年企業を目指す

N.G.C.は「ひな」から「にわとり」まで育てる育成業務のプロフェッショナルとして、本社がある赤穂郡上郡町の「赤穂農場」をはじめ、岡山県、広島県に5つの養鶏農場を構える西日本最大級規模の採卵鶏育成企業です。高品質な鶏に育て上げるため10年以上にわたって全農場のデータ管理を推進。給餌やワクチネーションを科学的に分析し、健康な鶏に育つ育成率は99%を達成しています。社員の育成にも力を入れ、各種勉強会や社外セミナーへ積極的に参加。社員の成長こそが鶏の品質向上へ繋がると確信し、一丸となって100年企業に発展するための仕組みづくりに取り組んでいます。

トップ Message

若手を中心に、向上心を持って取り組んでいます

本社 赤穂農場 農場長
竹内 孝仁さん

赤穂農場では年間約250万羽の健康な鶏を出荷しています。2019年にはタブレットによる最新の飼育管理システムを導入しました。20代～30代の若手社員が中心となって業務提案や改善ができる風通しの良い職場であること、全員が和気あいあいとして仲の良いことが自慢です。食の根幹を支えるやりがいのある仕事「養鶏」を、一緒に担っていきましょう。



所在地

〒678-1261

TEL/FAX

赤穂郡上郡町旭日乙441-1

H P

TEL.0791-52-0383 FAX.0791-52-5393

設立

<https://ngc-hp.azurewebsites.net/>

資本金/売上高

1987年7月

従業員数

8500万円/52億円(2020年3月期)

雇用環境

社員49人(本社 赤穂農場)

社会保険(雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金)、各種手当(通勤、住宅、家族、皆勤、休日出勤)あり、独身寮・社宅・社員旅行あり

インターンシップ

随時受付。
会社見学会等も実施



企業ホームページ



事業内容

鶏卵の加工・販売、鶏糞の加工・販売

主な産品

鶏卵 約20万個/日
 発酵鶏糞 約6,000t/年間



こだわりPoint

エサやりから集卵、空調管理、鶏舎内の清掃まで、ほとんどの作業を最新設備でオートメーション管理しています。2020年3月、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる「JGAP認証」を養鶏場として取得しました。



洗浄からパッキングまで、
集卵工程も自動化



最新の「ウインドレス鶏舎」により
安全・衛生面もしっかりと管理

徹底したオートメーション管理で 安心で高品質のブランド卵を提供

スタッフ Interview

総務・経理、飼育管理担当

木田 香織さん(39歳)

会社員をしていましたが、縁あって2015年に入社しました。外国人技能実習生の指導やお世話もしています。入社してみると、臭いの問題など少し前までの養鶏場のイメージがいい意味で裏切られました。みんなで改良点を話し合ったり試行錯誤してみたりと、少人数ならではの連帯感がある職場ですよ。

高砂市本社の鶏卵加工販売大手「株式会社籠谷(かごたに)」の関連会社として、2008年に設立された「有限会社レイ」。2013年、18年、20年に設備更新した3棟の鶏舎で約24万羽の鶏を飼育しています。最新の「ウインドレス鶏舎」は換気能力に優れ、温度や日照管理、集卵やゲージ周りの清掃などが自動化。安心・安全で質の高い卵を生産しています。鶏糞はコンボジットで丁寧に時間をかけて発酵、さらに天日で乾燥させて出荷。サラサラで臭いもほとんどなく、コメ作りの現場でも高い評価を受けています。

所在地

〒678-1261

TEL/FAX

赤穂郡上郡町旭日丙449-15

H P

TEL.0791-52-0039 FAX.0791-52-0039

設立

<https://www.kagonet.co.jp/ray/>

資本金/売上高

2008年2月

従業員数

300万円/21億5000万円

雇用環境

社員2人、パート8人

社会保険(雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金)、社宅(送迎付き)あり、住宅手当あり

インターンシップ

随時受付。
 企業見学(1日)受け入れ可能
 ※2018年県立但馬農業高校、
 県立農業高等学校(加古川)
 実績あり



企業ホームページ

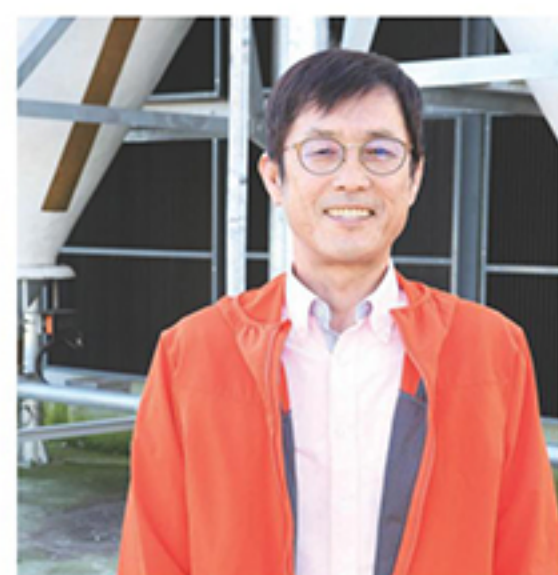
トップ Message

20~30年先を見据え、若者を積極的に採用します

専務取締役

木田 康晴さん

当社では、安心して食べてもらえる良質な卵を生産し、消費者の皆様と従業員の幸福度の向上を追求しています。オートメーション化で重労働も少なく、未経験者でもしっかりとしたフォロー体制で働きやすい環境整備を進めています。籠谷グループの一員として将来を担う若者に期待しています。ぜひ、見学に来てみてください。





事業内容

水稻、野菜類の栽培

主な作物

- うるち米
特別栽培米コシヒカリ
「コウノトリ育むお米」・
つきあかり
- もち米
- 野菜
ほうれんそう、みずな、
はくさい、キャベツ、
キュウリ



こだわりPoint

有機栽培米を生産するJAたじま管内の生産者4戸と連携し、2018年1月、全国のJAでは初となる無農薬栽培の主食用米での「GLOBAL G.A.P.」グループ認証を取得しました。



社屋横のハウスでは多品目の薬物野菜を栽培



ラジコン草刈機で草刈りの作業負担を軽減



田植え時には除草剤散布ボートを活用

「コウノトリ育む農法」の先駆者として 未来へと持続可能な地域農業の発展をめざす

コウノトリが野生復帰するために生産者・JA・行政が一体となって普及拡大に取り組む「コウノトリ育む農法」。「植田農園」は、2002年の試験栽培段階からこのプロジェクトに参加、同農法の栽培指針の作成や「コウノトリ育むお米生産部会」の設立(2006年)に大きく貢献しました。今では無農薬栽培を基本に、地域に点在する農家の作業受託も含めて約32ha、126枚の水田をITツール「アグリノート」で管理。寒暖差を活かした少量多品目の野菜栽培も行いながら、農作業を効率化する技術を積極的に導入するなど、農業の労働環境や環境保全において持続可能な農業経営のあり方を実践しています。

スタッフ Interview

西口 信哉さん(35歳)

2020年10月入社。兵庫県立但馬農業高校を卒業後、日高町の農業法人で野菜づくりに携わりましたが、しばらく農業から離れていました。もう一度、自分の職業として農業に挑戦したいと考え、植田農園の門をたたきました。一から努力を積み重ねて技術を身に付け、一人前の「農業人」になれるよう日々精進していきたいです。

所在地 〒668-0321
豊岡市但東町唐川61-1
TEL/FAX TEL.0796-54-0771 FAX.0796-54-0774
設立 1994年6月
資本金/売上高 900万円/3000万円
従業員数 社員2人
雇用環境 社会保険(雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金)あり

インターンシップ

受入可能。
詳細は問い合わせを

トップ Message

明確な目標を持ち、ガッツのある新人に期待します

代表取締役
植田 博成さん

植田農園では圃場管理システムやIT機器を活用した「スマート農業」を積極的に行い、女性も就農しやすい「重労働のない」安全な労働環境づくりに取り組んでいます。世界基準で安全性が認められた「コウノトリ育むお米」は、今後さらなる需要が見込まれます。農業に関係なくても、自分なりの夢や目標を掲げて一生懸命がんばる人を応援します。





事業内容

水稻、野菜、豆類の栽培 農産物、加工品の販売(インターネットショップ・直営店)

主な作物

- 水稻
コシヒカリ、ミルキークイーン、フクノハナ
- 野菜・豆類
黒大豆、小豆、はくさい、キャベツ、いちご
- 加工品
餅、赤飯、おはぎ



こだわりPoint

土づくりを重視し、冬期湛水による生き物豊かな水田環境づくりなどコウノトリと共生する環境創造型農業に取り組んでいます。



経営耕地内にある伊豆の
コウノトリ人口巣塔



「アイガモ農法」を取り入れ、田植え
時に除草、害虫駆除をしています

スタッフ Interview

宮下 知彦さん(39歳)

一般企業に勤務していましたが、実家周辺の集落で耕作放棄地が増えていく現状を目の当たりにして、「何とかしたい」と一念発起。豊岡市の主導で2013年に開校した「豊岡農業スクール」の1期生として入校しました。研修受入れ先の当社で3年間、基礎からみっちり学び、スクール修了後入社。当社が連携する地域内の農業法人に勤める仲間との交流活動や研修などもとても役に立っています。

「人」と「人」のつながりを大切に 自然と共生する持続可能な農業経営に取り組む

「グリーンいずし」は、豊岡市を流れる円山川右岸に広がる通称「六方たんぼ」の南部、コウノトリの人工巣塔がある出石町伊豆集落などを中心に14集落の水田地帯約65haで営農を行っています。2006年に設立した「コウノトリ育むお米生産部会」に当初から参画。「コウノトリ育む農法」の啓発・普及に力を注ぎ、同農法で栽培した特別栽培米ミルキークイーンは「第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」都道府県代表お米選手権で特別優秀賞を受賞しました。“自然と共生し未来へ継続する農業経営”を掲げ、地域の農業法人と連携しながら、次世代の担い手育成に積極的に取り組んでいます。

所在地

〒668-0207

豊岡市出石町伊豆字中道696

TEL/FAX

TEL.0796-52-6823 FAX.0796-52-6827

HP

<https://www.green-izushi.net/>

設立

2006年1月

資本金/売上高

300万円/8000万円

従業員数

社員5人

雇用環境

社会保険(健康保険、労災保険、厚生年金)あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ

トップ Message

地域内で連携し、未来を担う人材を育成したい

代表取締役

狩野 誠一さん

農業では、作物と並び「人」も大切な財産です。当社は豊岡農業改良普及センターや地域の4法人と共に設立した「但馬地域農業法人連携協議会」の一員として、若手農業者の交流活動や人材育成を積極的に行っています。今後は、ITを活用した「スマート農業」を推し進め、魅力的でやりがいのある環境を整えたいと考えています。“元氣とやる氣”あふれる人材を歓迎します。





事業内容

農産物生産・販売・加工、包装食肉販売、
一般酒類販売、魚介類販売、システム開発

主な作物

- うるち米
コシヒカリ(「コウノトリ
の舞」など)約5ha、
ほしじり約2ha
- 野菜・果実
にんじん、トマト、白ネギ、ケールなど
軟弱葉物野菜、小玉スイカ、いちご
- 加工品
「雪下人参ジュース」、乾燥野菜粉末



こだわりPoint

2019年にベビーリーフの栽培において「GLOBAL
G.A.P.」認証を取得。栽培方法をできる限りデー
タ化して共有することで、誰でも一定の生産量を
確保できる技術指導を心掛けています。



社員のスキルを活かし、本社オフィスでは
パッケージデザインやWebの運用なども行っています。

スタッフ Interview

亀井 知美さん(45歳・写真左)

袋詰めなどのアルバイトを経て2011年に入社、
米、野菜全般の栽培を担当しています。昨年からス
イカ栽培のメイン担当を任せられ、今年は高糖度(16
度)の小玉スイカに成功。ネット販売も大好評で完
売、達成感を得ることができました。子育て中ですが、
臨機応変に休みや勤務時間の調整ができるので
とても働きやすい職場です。

前田 達也さん(47歳・写真右)

製造業の会社に勤務していましたが、縁あって
2015年に入社しました。主にハウス管理を担当して
います。農業は自分が努力すればするほど、栽培結
果がきちんと出るのとてもやりがいがあります。
今後は、指示に従った作業から自分なりに工夫を加
えたやり方を実践していきたいです。社内は和気あ
いあいとして楽しい雰囲気ですよ。

それぞれの経験やスキルを生かしながら 柔軟な発想で農業の新しいビジネスを創出

「Teams」では飲食業や建設業、林業、自動車販売業など、さまざまな業界を経験したスタッフが知恵を出し合って「稼げる農業」に取り組んでいます。神鍋高原を中心に日高町内にほ場が7カ所。米や野菜、果実などほぼすべてを自社で開拓した取引先企業や店舗などに出荷したり、ネット販売で直販しています。実習を通じて就農を支援する「楽農や」農村塾では担い手の育成にも注力。栽培データを管理する独自システムの開発も進行中です。「農業という職業を選択するのに「覚悟」は必要ありません。やってみて初めてわかることが誰にでもあります」と、未経験者にも門戸を広げています。

所在地

〒669-5311

TEL/FAX

豊岡市日高町日置23-18

H P

TEL.0796-42-2244 FAX.0796-42-2294

設立

http://rakunouya.com/

資本金/売上高

2009年6月

従業員数

3000万円/1億円

雇用環境

社員9人、パート4人

社会保険(雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金)、
寮あり、基本勤務時間8時~17時、
休日シフト制

インターンシップ

随時受付

※県立但馬農業高校(課外実習)
受け入れ実績あり



企業ホームページ

トップ Message

農業はやり方次第で伸びる成長産業です

代表取締役社長

新免 将さん

11年前、休耕地が広がるこの地に活気を取り
戻したい、との思いで建設業から転身、「Tea
ms」を立ち上げました。農業経営は栽培して
出荷したら終わりではありません。作物(商品)
の企画や生産はもちろん、さまざまな営業やプ
ロモーションを仕掛けることで成長が期待で
きます。どんな世の中になっても食物の需要は
不変です。新しいアイデアで果敢に挑戦する、
そんな若者を会社としてバックアップします。





事業内容

水稻、小麦、豆類の栽培、農産物販売

主な作物

- 水稻
コシヒカリ(約7割を「六方銀米」ブランドで直販)
- 小麦、大豆



こだわりPoint

「ひょうご安心ブランド」を取得し「六方銀米」を9割減農薬で栽培しています。また、減農薬・無農薬で小麦や大豆、最近は小豆栽培にも取り組み生産を拡大させています。



「六方田んぼ」と呼ばれる
穀倉地帯にある圃場



作業現場にやってくるコウノトリ

スタッフ Interview

草壁 竜太郎さん(30歳)

大学を卒業後、2012年に入社。実家は非農家だったので豊岡市の「豊岡農業スクール」で3年間研修を受け、農業知識の習得と実践に励みました。村の盆踊りなどに参加して地域の人たちと楽しく交流しています。「第一次産業」である農業は、文字通り生活の基盤を支える重要な仕事です。大変なところもありますが、この仕事に誇りを持ってがんばっています。

独自ブランド「六方銀米」を直販 全国を視野に収益の拡大を目指す

「中谷農事組合法人」は、1987年に豊岡市中谷集落の全農家33戸が集団営農組織「中谷営農生産組合」を結成したことに始まります。兵庫県初となる一集落一農場方式の共同経営によって全農地を管理。ライスセンターの設置や農機具の共同利用を進め、1993年に特別栽培米コシヒカリを「六方銀米(ろっぽうぎんまい)」として独自ブランド化しました。1998年に特定農業法人認定により法人化。早くから自社ウェブサイトのネット通販に力を入れ、「ひょうご安心ブランド」認証を受けた「六方銀米」は、全国からリピート購入される人気ブランドに成長しています。

トップ Message

農業においても会社勤務のように働ける職場を目指します

代表理事組合長
松井 栄作さん

組合が法人化するメリットは、社会的信用力が向上し、就業条件が整備されて従業員が安心して働ける企業体になることです。収益性を高め、安定した経営を行うことで後継者の育成にも取り組んでいきたいと考えます。私自身、会社員から転身して就農しました。専門知識のハードルはありません。やる気さえあれば当組合の先輩が一から教えてくれますよ。



所在地

〒668-0874

豊岡市中谷133-1

TEL/FAX

TEL.0796-24-0758 FAX.0796-34-6008

HP

<https://nakanotani.com/>

設立

1998年1月

出資金/売上高

960万円/8000万円

従業員数

社員5人、パート3人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
慰安旅行などの福利厚生、健康診断、退職金制度あり
農繁期以外は原則週休2日

インターンシップ

受入可能。
詳細は相談を



企業ホームページ



事業内容

米(酒米・うるち米)の生産
日本酒の製造・販売
おもちの製造・販売

主な作物

○酒米
○もち米



こだわりPoint

スマート農業を実践し、中山間地の耕地面積を増やして、地域の活性化に取り組んでいます。



自社のライスセンター



AIを搭載したコンバインで作業

スタッフ Interview

梶村 拓哉さん(25歳・写真左)

自分を見つめなおしたとき、農業がしたいと思い、エンジニアから転職して2019年4月入社しました。実証プロジェクトでは最新の農機具を使うことができ、スマート農業をいち早く体験できています。大学ではコンピューターの勉強をしたので、この知識を農業にも活かしていきたい。

三方 陽平さん(40歳・写真右)

Uターンして2020年8月に入社しました。前職は介護職で、外で体を動かす仕事に憧れていました。会社では大きな機械を操縦することができて、楽しい、良い経験になります。実家は兼業農家ですが、独立するのではなく、ここで学んでいきたい。定年後は実家で農業します。

スマート農業で地域の活性化 実証プロジェクトの一員として参加

中山間部水田作地域でのスマート農業の実証をテーマに、養父市・京都大学・ソフトバンクなどで作る共同体の一員として、2019年から農林水産省のスマート農業実証プロジェクトに参加している「Amnak」。食味や収量を稲刈りしながら測定できるコンバインなど、AIを搭載した農機具を導入することで、効率化・コスト削減を目指します。代表取締役・藤田彰さんは地域の活性化に注力。栽培する酒米「五百万石」などを地元の酒蔵に委託して、自社ブランドの日本酒「但馬ほまれ」「能座ほまれ」を醸造。オール但馬の日本酒として海外にも輸出しています。

トップ Message

持続可能な中山間農業の企業モデルを構築

代表取締役
藤田 彰さん

生産から収穫、精米まで一元管理するため、2017年ライスセンターを整備しました。スマート農業実証の取り組みは、働く人のモチベーションを上げています。ICT、AIを駆使した機械化により、収益を上げる仕組みを作りたい。持続可能な中山間農業を実践し、耕作面積を広げて地域の活性化に役立ってほしいと、期待されている会社です。



所在地

〒667-0143
養父市能座100

TEL/FAX

TEL.079-666-0227 FAX.079-661-9030

HP

<http://www.amnak.co.jp/>

設立

2015年10月

資本金/売上高

3000万円/2280万円

従業員数

社員3人、季節雇用10人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制。
年間休日84日。
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産、加工、販売

主な作物

○トマト
プライベートブランド
「こいとま」として
販売



こだわりPoint

消費者に喜んでもらえる、高濃度でコクがあり、甘味と酸味のバランスが良く、糖度12を目標に高品質のトマトを作っています。



トヨーバイオメタンガス発電所(写真奥)とハウス



ハウス内ではトマトに適した栽培環境の自動制御を行います



太陽光も最大限取り入れ、完熟した高糖度トマト

スタッフ Interview

深川 大志さん(44歳)

2020年2月に入社しました。実家が造園業のため、大学では造園の勉強をしました。いろいろ経験した後、施設園芸のトマト栽培がおもしろく、約10年間携わっています。施設園芸は既成の培土を使うため、新人でも入りやすいと思います。トマトの味は気象条件などの環境も考慮した管理の仕方によって大きく変わるので、そこにやりがいを感じます。

環境制御システムが整った広大なハウスで年間通じてトマト「こいとま」を栽培

「トヨー養父農業生産法人」は、45アールの広大なハウスでトマトを栽培しています。9月上旬に苗を植え、11月から翌年6月まで高糖度フルーツトマトを収穫。プライベートブランド「こいとま」として、地元をはじめ京阪神、東京に出荷しています。ハウスでは温度・湿度・CO₂・日照・灌水・給液などトマトに適した栽培環境を自動制御する最新技術によって、寒さ厳しい養父市の冬期も栽培・出荷が可能に。隣接する「トヨーバイオメタンガス発電所」の再生可能エネルギーや、メタン発酵時に排出される消化液を一部肥料として利用する循環型農業を行っています。

トップ Message

これからの新しい農業が体験できる職場

アグリ事業部 農場長
山口和人さん

2015年に試験農場を始め、2019年7月からこのハウスが稼働しています。2年目となる2020年は4000~5000万円の売上高が目標。新しい農業に興味がある人に適した職場です。グループ会社なので違う仕事をする機会もあるし、新しい農場の展開も考えていますので、力を発揮する場が増える可能性も。力をつけてもらうための研修制度もあります。



所在地

〒667-0111

TEL/FAX

養父市大薮1159

H P

TEL.079-666-8288 FAX.079-666-8289

設立

<https://toyo-group.com/>

資本金/売上高

2015年12月

従業員数

500万円/600万円

雇用環境

社員2人、パート7人

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
人事評価制度、独立就農支援あり
週休2日のローテーション制
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

白ねぎの生産・販売
 そばの生産
 青果物の仲介(近隣農家の青果物を独自のルートで京阪神に出荷)
 体験型観光農園(ねぎ、黒大豆枝豆など)の運営

主な作物

○白ねぎ
 ○そば



こだわりPoint

白ねぎに特化し、周年安定して出荷できるように、作付け、栽培方法を工夫しています。



夜久野高原に広がるほ場



収穫後、きれいに整えて出荷されます



スタッフ Interview

足立 飛鳥さん(23歳)

兵庫県立但馬農業高校を卒業して、2018年10月に入社しました。学校で学んだことより、実際に働いてから分かること、学ぶことが多いです。種まきから栽培、収穫まで、ほ場の管理を全て行っています。1品目栽培ですので、白ねぎに詳しくなり、スーパーに行っても、つい気になり、目を止めます。もう少し先ですが、「農場長候補として頑張れ」とプレッシャーをかけられています。

白ねぎに特化し、年間を通じて安定出荷
栽培方法や品種選定を工夫

夜久野高原にある計8.8ヘクタールのほ場で、白ねぎを栽培する「緑の風農場」。道の駅「但馬のまほろば」を運営するグリーンウインドが出資しています。白ねぎに特化し、「最初は栃木県の著名なねぎ農家へ何度も出向き、栽培法をそっくり真似ました」と管理部部長・上村義信さん。その後、朝来の気候・土壌に合うよう施肥設計を行い、栽培方法や品種選定を工夫した結果、年間を通じての安定供給が可能に。出荷前には丁寧に白ねぎを整え、新鮮なうちに市場に届けます。兵庫県認証食品に認証されています。

トップ Message

新規就農者を積極的に支援

管理部部長
 上村 義信さん

白ねぎに特化している農場として、この規模は兵庫県内最大級です。1品目を深く学ぶことができるので、興味がある人にはおもしろい。名刺に「私たちは、いろんなタネを育てます」と書いているように、新規就農者の支援を積極的に行っています。社員は若い人が多く、発展途上の会社です。起業家精神がある人に来てもらいたいです。



所在地

〒669-5153 朝来市山東町大月92-6(本社)
 〒669-5114 朝来市山東町野間字田ノ口幅729(農場)
 TEL.079-666-8066 FAX.079-666-8067
<https://green-wind.co.jp/farm>
 2015年1月
 資本金/売上高
 5630万円/4000万円
 従業員数
 社員6人、パート4人
 雇用環境
 社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
 隔週週休2日制(日曜、祭日は休み)。
 盆・正月休みあり
 人事評価制度、独立就農支援制度あり
 休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産・販売
観光農園(黒大豆枝豆、いちご)の運営
貸農園の運営

主な作物

〇米(コシヒカリ)
〇黒大豆
黒大豆枝豆
〇いちご



こだわりPoint

自家製堆肥を使って土づくりをし、丹波の気候・土壌を活かした、環境と体にやさしい農業を行っています。



スタッフ Interview

高口 大輔さん(41歳・写真左)

大学は社会学部ですが、農業に興味があり、卒業後すぐに法人に入社して就農。2法人を経て2003年に入社しました。現在はいちごの責任者として、観光農園の来場者が多い春休みに、うまく収穫に持っていかけるように努力しています。安定しておいしいいちごを作ることができるよう、勉強の日々です。

森下 一輝さん(25歳・写真右)

北海道の酪農学園大学を卒業して、2017年4月に入社しました。今年から黒大豆の仕事がメインになりました。いろいろな黒大豆の栽培方法がある中で、どの方法が効果的で収量が上がるか、研究しながら学びたい。農作業の中では、収穫の作業が1年間の成果を実感できるので、一番ワクワクします。

自家製堆肥で土づくり、濃厚な味わいの農産物を記憶する農業から記録する農業へ

昼夜の温暖差が大きく、濃い味わいの農産物ができる丹波篠山。「丹波たぶち農場」はこの地で50年以上米づくりを行っています。土づくりにこだわり、80ヘクタールのほ場の全てに自家製堆肥を使用。農薬・化学肥料を一切使用しない無農薬栽培のコシヒカリをはじめ、全ての作物は農薬・化学肥料の使用は極力抑えて栽培しています。理事・田淵真也さんは「記録より記憶だった過去の農業を、マニュアル化して効率化していきたい」と、ドローンなどを使って栽培状況の数値化など、ICT化を進行中。10年前から観光農園も運営。シーズン時は1カ月に6000人が訪れます。

所在地

〒669-2723

丹波篠山市口阪本158-3

TEL/FAX

TEL.079-593-0545 FAX.079-593-1123

H P

<https://www.tabuchi-farm.jp/>

設立

2002年2月

資本金/売上高

300万円/1億8000万円

従業員数

社員6人、パート8人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制。盆・正月休みあり、
有給休暇あり、休憩室あり
家賃の補助制度あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ

トップ Message

人数が多い職場で職種も多様

理事

田淵 真也さん

自家製堆肥は牛糞、籾殻などで作っており、専門家と一緒に年に2~3回勉強会をして、皆で土づくりに取り組んでいます。観光農園や貸農園と事業が増えたので、生産・販売・企画と幅広い仕事があります。「これをしたい」という目標がある人は、自分に合う仕事を見つけれられる可能性が大きいです。





事業内容

有機農産物の生産・販売

主な作物

- 葉物野菜(こまつな、みずな、しゅんぎく、ミニチンゲンサイ、レタス、ミニはくさい、ミニキャベツなど)
- 根菜類(にんじん、だいこん、じゃがいも、さつまいも、さといもなど)



こだわりPoint

土づくりにこだわり、有機栽培で定番野菜を多品目作っています。



多品目の有機野菜を栽培



食べることを大事に 普段使いする野菜を有機栽培で提供

スタッフ Interview

山畑 隆行さん(28歳)

JA、コーヒーチェーンを経て、2017年に入社しました。ずっと就農したくて、多品目・有機栽培・兵庫県内を条件に探していたら、ぴたっとはまりました。農場長として栽培計画や作業全般を任せられ、みっちり勉強しています。すぐに燃え尽きていた自分が3年間も農業を続けていることに驚きも。気象条件が日々変わり、工夫と挑戦の毎日であることが楽しい。将来は独立したいと思っています。温暖化で天候リスクが高いので、施設栽培に興味を持っています。

「耕す」は、代表取締役で音楽プロデューサー小林武史さんの「食べることを大事にしたい」という思いのもと、自主生産の拠点として設立されました。木更津農場に続いて2012年丹波農場がスタート。全て有機栽培で、普段使いする野菜を買いやすい価格帯で消費者に提供しています。6ヘクタールの畑では、春夏・秋冬各10品目栽培。鶏・豚・牛の糞の堆肥や緑肥も使って土づくりを行います。販売先はスーパー・百貨店に特化。都市部の消費者のニーズに応じて、冷蔵庫に入りやすいミニサイズのはくさいやキャベツを栽培しています。

トップ Message

経験を積みながら作る喜びをともに体験

取締役・丹波農場責任者
入江 洋介さん

多品目を有機栽培するというビジョンがはっきりしている会社です。病害を軽減し良いほ場を作るため試行錯誤することも多々あり、経験を積みながら有機栽培を学ぶことができます。自分自身、この農場の母体である音楽会社で25年、丹波で8年頑張ってきましたが、いいものを作って喜ばれることの楽しさは一緒ですね。



所在地

〒669-4301

丹波市市島町下竹田325-4

TEL/FAX

TEL.0795-86-1450 FAX.0795-86-1455

H P

<http://www.tagayasu.co.jp/>

設立

2010年3月

資本金/売上高

1億円/7000万円

従業員数

社員3人、パート6人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1日(土曜)+1日(シフト制)。
夏休み・冬休み・リフレッシュ休暇(2月)あり
休憩室・寮あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ

丹波市

ひょうたん農場 株式会社



事業内容

農産物の生産・販売
但馬牛の繁殖

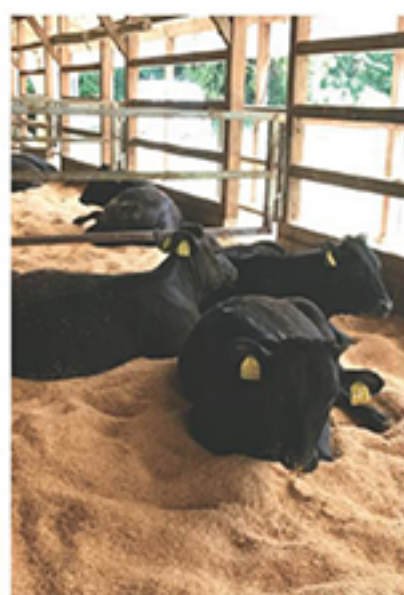
主な作物

- 但馬牛
- 米(コシヒカリ)
- 酒米
- 黒大豆
- 大納言小豆
- 栗



こだわりPoint

米作りと畜産を複合経営しており、自社で循環型農業を実践しています。



兄弟で米作りと畜産を担当 耕畜連携の循環型農業を自社で完結

スタッフ Interview

須原 秀次さん(35歳)

牧場長として、但馬牛繁殖の責任者です。病気を見逃さないよう、毎日牛の調子を見ています。肥育牧場に出荷した牛が品評会で良い成績を取ったときには、うれしいですね。これからも勉強です。

会社の役員としては、従業員全員がちゃんとした生活ができ、将来の設計ができるよう、兄弟で力を合わせて運営していきたい。役員はじめ社員も若い人が多いので、楽しく働けると嬉しいです。

兄弟で営む「ひょうたん農場」は、長男で代表取締役・須原隆一さんが米作り、次男の秀次さんが畜産を担当しています。昼夜の寒暖差が大きく、水がきれいな丹波の環境を活かし、コシヒカリと酒米を生産。酒米は地元の酒蔵に直接納めています。丹波の特産品である黒大豆と大納言小豆の栽培にも取り組んでいます。800平方メートルの牧場では55頭の但馬牛の母牛を管理し、子牛を生産。米作りで出たワラを牛の飼料とし、牛糞を米作りの堆肥とする循環型農業を、自社で完結しています。

所在地

〒669-4302

丹波市市島町中竹田1678-2

TEL/FAX

TEL.0795-78-9487 FAX.0795-78-9488

設立

2019年4月

資本金/売上高

900万円/7000万円

従業員数

社員4人、季節雇用1人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1日(農閑期は土・日曜休み)。
午前8時～午後5時の勤務。
盆・正月休暇と冬場の休暇あり
独立就農支援あり
休憩室あり、家賃補助制度あり

インターンシップ 要相談

トップ Message

自分の時間を大事にできる農業を

代表取締役

須原 隆一さん

有機栽培にも取り組み、農作業の機械化を考えています。いかにニーズに合う物を届けられるかと常に考え、米や野菜作り・牛の繁殖をしています。複合経営しているので、農業と畜産の両方を学ぶことができます。休みがなくきついという農業のイメージを覆して、働く人それぞれが自分の時間を大事にできる職場にしていきたいです。





事業内容

生乳の生産・出荷、乳牛の繁殖・飼育

主な産品

- 生乳(淡路島牛乳株式会社へ出荷)
- 肉用子牛(F1(交雑種)、ホルスタインの雄牛)



こだわりPoint

淡路島の山間部の空気が良い場所で、乳牛をストレスなく育て、安心・安全な生乳を生産しています。



開放的で清潔な牛舎



スタッフ Interview

新居田 和也さん(32歳・写真左)

農協の畜産関係の部署で働いていましたが、現場の仕事がしたくて、2013年に入社しました。午前6時からの搾乳に始まり、牛舎の清掃と何でもします。牛の発情期や妊娠している牛なら逆子でないかなど、常に健康状態のチェックを心掛けています。今では、牧場内の全ての牛を見分けることができます。

岡本 伸行さん(37歳・写真右)

3年間酪農の仕事をしており、社長の人柄に惹かれて2020年5月に入社したばかりです。職場は一丸となっていて、いい雰囲気ですね。仕事では、牛一頭一頭をなかなかきちんと判別できていないので、個体を全て覚えることが優先課題だと思っています。動物好きには楽しい職場です。

清潔な牛舎でストレスなく育つ乳牛 安心・安全でおいしい牛乳に

淡路島のほぼ中間の山間地で、82頭の乳牛(ホルスタイン)を育てる「SDF」。毎朝搾乳した生乳は、淡路島牛乳株式会社に出荷し、淡路島牛乳として消費者に届きます。安心・安全な生乳を作るには牛にストレスを与えないように育てるのが一番と、開放的な牛舎の中、清潔な環境作りに力を入れており、わらをまいて臭いを軽減しています。牛ふんたい肥として、地元農家に販売も。代表取締役の奥村重宏さんは長年洲本市畜産共進会に手塩にかけて育てた牛を出し続けており、育種改良にも熱心に取り組んでいます。

トップ Message

アットホームな雰囲気の中で楽しく仕事を

代表取締役

奥村 重宏さん

少人数でアットホームな雰囲気が、この会社の良さ。どの従業員とも垣根なく接するようにしています。毎朝搾乳しながら牛の健康をチェックするなど、細かい観察眼も必要ですが、まじめで明るい人なら大丈夫。牛相手の仕事なので、やはり動物好きな人の方が、楽しく働けると思います。



所在地

〒656-1335

洲本市五色町広石下1244

TEL

TEL.0799-35-0671

設立

2019年5月

資本金/売上高

100万円/1億3000万円

従業員数

社員3人、実習生1人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
月に5日の休日を自由選択
休憩室、寮あり

インターンシップ 随時受付



事業内容

農産物(たまねぎ)の生産・加工・販売
たまねぎを中心とした青果物の仲卸

主な作物

○有機たまねぎ



こだわりPoint

有機JAS認定、「GLOBALG.A.P.」を取得し、有機栽培にこだわってたまねぎを栽培しています。



南あわじ市にある大型乾燥・冷蔵庫



スタッフ Interview

溝渕 忠さん(36歳・写真左)

実家はたまねぎとレタス、米を作っている農家で、有機栽培に興味があって、2013年に入社しました。これまでは冷蔵庫の施設で働き、貯蔵方法を学びました。8月に農園部に変わったばかりです。有機栽培をしっかりと学び、将来実家の農業を継いだときに活かしたいと思っています。

川上 真弘さん(24歳・写真右)

農学部出身で、2020年5月に入社したばかりです。有機栽培をしていること、G-GAPを取得していることが、入社決め手になりました。今は農作業の全てが新鮮で楽しいです。これからは実際に作業する中、興味を持っている有機栽培をしっかりと学んでいきます。

自社生産分は有機栽培で たまねぎ農家と調理法に合わせたたまねぎ作り

青果物の仲卸業を営んでいる「新家青果」は、20年前にたまねぎの自家栽培をスタート。「淡路島のたまねぎの生産量が減少する中で、付加価値のあるものを作りたいだったので、有機栽培に取り組みました」と代表取締役・新家春輝さん。農家が実践できる栽培の研究も続け、慣行栽培を行う農家に有機栽培で得たノウハウを提供し、糖度9以上の加熱用「あまたまちゃん」と、辛み成分が少ないサラダ用「さらだちゃん」を誕生させました。棚で管理する方式の大型乾燥・冷蔵庫を備え、貯蔵法を工夫することで年間供給を可能にしています。

トップ Message

「GLOBALG.A.P.」を取得、世界進出を視野に

代表取締役 新家 春輝さん

淡路島以外に小野市と茨木市に事業所があり、今後は全国展開を考えています。輸出を視野に12年前にGLOBALG.A.P.を取得。将来的にはベトナムや中国で現地栽培をしたいですね。農家との関わりが深いので、モデルとなるような農業を研究・指導したいという思いがある人に働いてもらいたいと考えています。



所在地

〒656-1321

洲本市五色町鮎原中邑1005

TEL/FAX

TEL.0799-32-0024 FAX.0799-32-1153

HP

<http://www.shinkeseika.co.jp/>

設立

2003年5月

資本金/売上高

5500万円/10億円

従業員数

社員16人、技能実習生11人(ベトナム人8人、中国人3人)、パート70人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制、盆・正月休暇、有給休暇あり、
スタッフ研修制度、人事評価制度、
独立就農支援制度あり、休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産・卸売・加工・販売
農作業受託

主な作物

○たまねぎ
○ブロッコリー
オリジナルブランド「島玉ねぎ」「島ブロッコリー」
として販売
○干したまねぎ
○はくさい
○米



こだわりPoint

たまねぎ・ブロッコリー・はくさいはひょうご安心
ブランドの認証を受け、低農薬・有機肥料で安心・
安全な野菜を生産しています。



スタッフ Interview

杉山 輝希さん(21歳)

神奈川県立かながわ農業アカデミー卒業後
2019年4月に入社しました。横浜出身なので、淡路
島の自然豊かな環境が新鮮です。たまねぎや葉物
野菜の栽培担当です。たまねぎの種をまき、育て取
穫する一連の作業の中で、収穫が一番自分の仕事
の成果を実感できて喜びを感じます。将来は学校の
友人たちと一緒に、独立就農する予定です。消費地
に近い埼玉県あたりになるかと思っています。

甘くて日持ちがする「島玉ねぎ」 循環型農業で育つ安全・安心、おいしい野菜

約7.5ヘクタールの畑で、たまねぎ・ブロッコリー・はくさいを栽培する「A&H」は、淡路
島の牛糞・鶏糞堆肥に加えて緑肥を使い、淡路島内での循環型農業を実践。「たまねぎ
は糖度が高く、しかも日持ちするよう工夫しました。甘さと保存性のバランスの良いのが
特色」と専務取締役・菱池崇さん。およそ30年前から栽培するブロッコリーとともに、オ
リジナルブランド「島玉ねぎ」「島ブロッコリー」として販売しています。ひょうご安心ブ
ランドの認証を受け、農場はJGAPを取得し、安心・安全な野菜づくりを続けています。地
域の農業を維持することにも注力し、農作業受託も行っています。

トップ Message

生産性を上げて地域農業を維持

専務取締役
菱池 崇さん

作物の持っている力を引き出す肥料の研究
に協力するなど、日々勉強することは多い
です。品質を向上させ、販売単価を上げ、生産
性を上げることが、これからの農業で大切な
こと。午前8時～午後5時の労働時間を決め、
ほとんど残業をなくすように心がけていま
す。農業は情報交換が大切なので、これが
しっかりできる人、農業が好きな人を求めて
います。



所在地

〒656-0411
南あわじ市倭文高337

TEL

TEL.0799-43-2323

HP

<http://www.aandh.jp/>

設立

2014年2月

資本金/売上高

300万円/4000万円

従業員数

社員4人

雇用環境

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
年105日の休日設定(繁忙期・農閑期などシフトで休日取得)
スタッフ研修制度、独立就農支援制度あり
休憩室あり
家賃補助制度あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産・卸売・加工・販売
農業者の研修およびコンサルティング

主な作物

- たまねぎ
オリジナルブランド「絆たまねぎ」
- キャベツ
- はくさい



こだわりPoint

100年以上歴史のある淡路島のたまねぎを守り、さらに発展するため、農家のサポートと農業経営者の育成・支援に取り組んでいます。



淡路島の南部、三原平野に広がるほ場



淡路島で農業と経営を学び、社長を目指す働きながらノウハウを覚え農業経営者に

スタッフ Interview

眞田 太介さん(39歳)

呉服業界で14年間働き、農業知識ゼロで2016年4月に入社。1年目から農業責任者として売上・経費・利益を管理するために、種子・肥料などの発注、人員の手配や人件費の管理を全て任せてもらいました。2020年11月に亡き兄の会社だった「Will Act」という社名を残したく、三田青果の分社として独立します。独立後も農業機械もそのまま使わせてくれ、ほ場も準備してくれるなど、手厚いサポートがありがたいです。これからは淡路島の農業の発展に貢献できたいと思っています。

「三田青果」は1965年(昭和40年)青果仲卸の会社として創業。2017年に生産部門を設立。「農家の高齢化と後継者不足のため、毎年作付けが減少する現状を打破するには農業経営者の育成が必須」(代表取締役・青山巽哉さん)と、働きながら農業経営を学ぶことができる会社運営をしています。農家の後継ぎのための修業や永年雇用を希望するスペシャリストコースと、淡路島で3年後に独立を目指すプロフェッショナルコースがあり、独立後は分社としてサポート。多くの農業経営者を育成・輩出することにより、日本の「農」をおもしろくしていきます。

トップ Message

10年間で13人の農業経営者を育成したい

代表取締役

青山 巽哉さん

農業は、*良い野菜を作る=安定する。とは限りません。当然プロとしてよい野菜を作る技術・経験は大切です。しかし同じくらいに人(人件費)・物(機械類)・お金(備品経費)をどのように考え動かしていくかも大切です。私は農業でしっかりと経営できる経営者を輩出していくビジョンを持っています。もっと若い人に挑戦していただきたい。



所在地

〒656-0426

TEL/FAX

南あわじ市榎列大榎列328

H P

TEL.0799-42-2830 FAX.0799-42-6267

設立

https://mita-onion.com/

資本金/売上高

1993年1月

従業員数

300万円/2億5000万円

雇用環境

社員4人、技能実習生2人(ベトナム人)

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり

週休1日(日曜)、盆・正月休暇、有給休暇(10日)あり

スタッフ研修制度、人事評価制度、

独立就農支援制度あり

休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

農産物の生産・販売
栽培コンサルティング
レストラン、カフェの運営
いちご狩り、バーベキューの運営

主な作物

○トマト
○いちご
○メロン

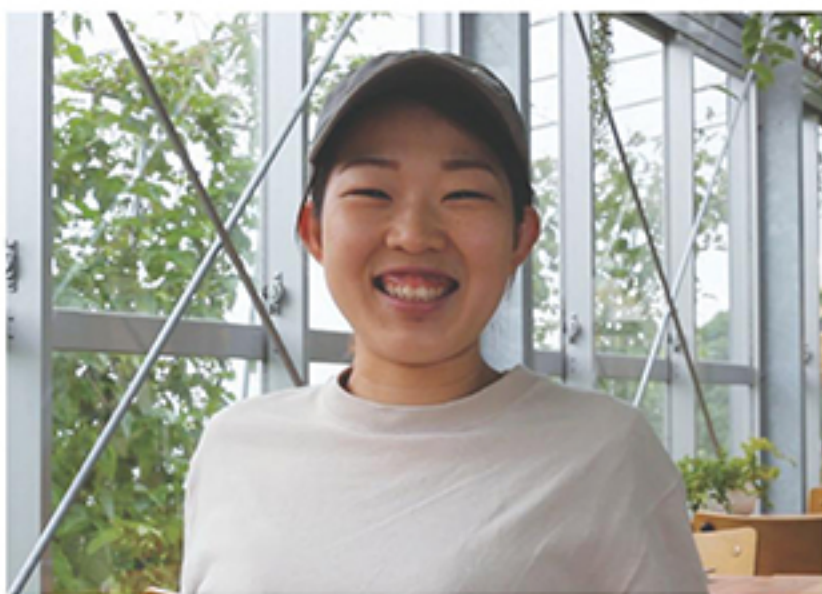


こだわりPoint

トマト・いちごの栽培を軸に、農家レストランを開業。農業、レストラン、カフェ、直売所と6次産業化を押し進めています



ハウス内の床に座ってくつろぎこともできる
いちごピクニック



スタッフ Interview

地主 守さん(31歳・写真左)

農産物の生産を行う栽培部の責任者として、栽培全般から従業員の教育、売上、経費管理まで、全ての責任を持っています。2015年の法人化を機に人材派遣会社から転職、入社しました。自分たちが作りたいいちご、トマトを「おいしい」と言ってもらえるよう、努力する農家(技術者)であり続けたい。

武井 風果さん(25歳・写真右)

2018年入社で、レストランカフェの店長です。メニュー設定や接客はもちろん、トマトハウスの手入れ、定植もします。夏にメロンを作ってもらって新メニューを考えるなど、栽培担当の人と意見交換できるのが、強みです。何事も楽しいと思ってやれる人に向いている職場です。

農業レストラン開業、アイデアあふれる事業を展開 多様な経験、多彩なスキルを持つ人材が力を発揮できる場

トマト農家としてスタートした「淡路の島菜園」は、2019年あわじ花さじき近くに農家レストラン「グリナリウム」を開業。以来、新感覚のいちご狩りや夏季のバーベキューを運営。2020年には築110年の醤油蔵をリノベーションし、カフェと直売所をオープンするなど、アイデアあふれる事業を展開しています。「貸別荘を利用する人が増えているので、ケータリングも事業化したい」と、代表取締役・大森一輝さんは新事業展開を視野に。トマト・いちご栽培技術の向上のため同業者と研さん続けるなど、本業もしっかりと取り組んでいます。

トップ Message

仕事を楽しくて、自分で決める覚悟がある人集まれ

代表取締役

大森 一輝さん

従業員のほとんどは他業種からの新規就農です。仕事は農産物の栽培、接客、調理と多彩です。それぞれの部署では独立採算の考え方で責任者に運営してもらっています。経営する覚悟、自分で物事を決める覚悟を持ってほしい。個人の成長が会社の成長に繋がると思っています。やり抜きたいことがある人が、力を発揮できる環境です。



所在地

〒656-2311

TEL/FAX

淡路市久留麻2674-11

H P

TEL/FAX.0799-70-6463

設立

<https://www.greenarium.jp/>

資本金/売上高

2015年1月

従業員数

500万円/2億円

雇用環境

社員12人、パート23人

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休1.5日のシフト制(時期により変動あり)
年2回長期休暇あり
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

花卉園芸・観賞用植物の栽培および販売
造園土木・設計、施工、調査

主な作物

○花卉全般



こだわりPoint

公共施設の花苗の植え付け、管理をはじめ、造園、特殊伐採など、花と緑を通して暮らしに彩りを提供しています。



温室で栽培温度をコントロールし、1月にチューリップを咲かせます

スタッフ Interview

初田 健一朗さん(24歳・写真左)

造園業からの転身で、2019年に入社しました。11月に2級造園施工管理技士の試験を控えて、勉強中です。合格したら給料が上がるので、励みになります。個人宅の庭の手入れの仕事もあり、和風庭園が好きです。せん定がうまくなりたいと勉強しています。

中村 拓真さん(24歳・写真右)

2014年4月入社で、公共施設の維持管理やチューリップの栽培など、幅広く仕事をしています。公共施設の植栽管理の仕事をしているとき、「きれいね」と入場者が喜んでくれる声を聞くと、やりがいを感じます。特別な技術が必要な特殊伐採もしています。無事に仕事ができるときには達成感があります。

花卉栽培から造園、調査まで幅広く オンリーワンの望まれる仕事ができる会社に

花卉栽培からスタートした「金岡光輝園」は、おのころアイランド(現・淡路ワールドパークONOKORO)オープン時に、花苗を納品すると同時に植え付けと管理も依頼され、造園業に大きくシフト。以来大阪花博、淡路花博も同じように関わってきました。「現在は花卉栽培1に対し造園業9ぐらいの割合です」と代表取締役・金岡秀和さん。神戸空港の植生維持や、あわじ花さじきの管理業務も行っています。加えて指定名勝庭園の復元工事や寺の大イチョウなどの特殊伐採など、「望まれる仕事があればやる」と、オンリーワンの技術を磨いています。

トップ Message

一芸に秀でた人が活躍できる職場

代表取締役 金岡 秀和さん

花卉栽培では1月にチューリップを咲かせるなど、開花時期を調節する技術があります。多岐にわたる仕事をしているため、社員には資格取得を勧めています。合格した資格に応じた昇給制度を用意しています。ドローンを使う仕事もあり、免許取得も必要。得意分野を生かしたい人、一芸に秀でた人が実力を発揮できる職場です。



所在地 〒656-2131
淡路市志筑2219
TEL/FAX TEL.0799-62-1470 FAX.0799-62-1586
H P <https://www.kokien.com/>
設立 1991年5月
資本金/売上高 4000万円/1億6000万円
従業員数 社員11人、パート3人
雇用環境 社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休2日のシフト制、有給休暇あり
資格取得により昇給制度あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

たまねぎの生産・販売
直売所運営

主な作物

○たまねぎ
○キャベツ



こだわりPoint

化学肥料、農薬を抑えた栽培方法でたまねぎを生産。冷蔵庫で保管し周年提供しています。



直売所「さいさいPantry」



淡路島のブランドのたまねぎを全国へ展開 生産するのも販売するのも楽しい

スタッフ Interview

吉本 ひばりさん(20歳)

2018年4月に大阪の普通高校を出て、農業に興味があったので入社しました。西宮出身です。現在は、育苗・栽培管理などの農作業、ベトナム人2人の教育係、商談会について行って営業見習いと、いろいろな仕事をしています。どれも自分に向いているか、模索しているところですね。一番楽しいと感じるのは、外で土を触れているとき。今年からトラクターに乗って、機械の作業もしています。

淡路島の名産であるたまねぎを全国に広めたいと、代表取締役・片原啓之さんが2013年に設立した「K.ファーム」。4ヘクタールの畑で化学肥料、農薬を抑えてたまねぎを栽培。首都圏や京阪神で開催される商談会などに積極的に出かけ、販路を開拓。自社生産と提携農家のたまねぎを、全国のスーパーに卸し、生産から販売までを一貫して手掛けています。神戸淡路鳴門自動車道東浦IC近くに直売所「さいさいPantry」を運営し、たまねぎのほか季節の野菜やドレッシング、お土産も販売しています。

トップ Message

農業から営業まで多岐にわたる仕事があります

代表取締役

片原 啓之さん

自社生産50%、提携農家50%の割合でたまねぎを全国のスーパーやレストランに出荷しています。農業者として作るのも楽しいし、営業人として売るとも楽しい。仕事は多岐にわたるので、自分で何をすべきかを考えて実践できる人材を希望しています。自分に向いた仕事を探し、それができると楽しいですよ。



所在地

〒656-2305

TEL/FAX

淡路市浦627-1

H P

TEL/FAX.0799-70-4347

設立

http://k-farm.shop/

資本金/売上高

2013年6月

従業員数

100万円/9800万円

雇用環境

社員1人、パート4人、特定技能2人(ベトナム人)

社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり

週休1日。夏季、年末年始、GWの休暇あり

独立就農支援・家賃補助制度あり

休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



事業内容

若手農業者のプラットフォームの運営
農産物の生産・販売
農村資源の再発見と利活用

主な作物

○スティックニンジン
などの野菜
○バジルなどのハーブ
○エディブルフラワー



こだわりPoint

常時15種類以上の野菜やハーブを、小さなほ場ごとに細かく管理する栽培方法で生産しています。



海に見える展望の良い場所にあるほ場

スタッフ Interview

平野 由佳さん(29歳・写真左)

大阪出身ですが、田舎暮らしに憧れがあり、講演を聞いて会社を知りました。データ管理された栽培に興味を持って、2019年8月に入社しました。芽キャベツやスイスチャードの責任者です。土づくり・肥料のやり方など自分で考えることがたくさんあり、工夫して良いものが採れたときには達成感があります。

山本 寛さん(26歳・写真右)

大学農学部4年生でインターンとしてお世話になり、2018年4月に入社しました。スティックニンジンなどの野菜を担当するほか、栽培に関する全体の管理を任されています。病虫害など自然の変化を少しでも見逃さないように心がけています。独立も視野に、必要なスキルを蓄えることができる職場です。

若手農業者の思いを結集 30～40種類の希少野菜・ハーブを全国へ

若手農家の野菜づくりへの思いが詰まった「フレッシュグループ」。「個々ではできないことをグループで助け合い、切磋琢磨する」と代表取締役の森靖一さん。淡路島北部の中山間地の畑(ハウス20棟、計6ヘクタール)で、常時15種類、年間30～40種類の希少野菜やハーブを生産。生い立ちの分かる野菜とハーブを、全国のホテルやレストランに提供しています。小さなほ場を細かくデータ管理をする新しい栽培技術に挑戦。各野菜に担当者を置き、栽培管理、収穫、出荷をきちんと担当制にすることで、仕事の見える化を進めます。

トップ Message

ベンチャー企業ならではの挑戦が面白い

代表取締役

森 靖一さん

農地・農村の保全活動を通して、農業を持続していくことにも力を入れています。高齢になりつつある農業者と組んで、技術や販売のノウハウを継承するベンチャー型農園の立ち上げを進めています。地域貢献として、プログラミング教育も行っています。新しい事業をいろいろ考えているベンチャー企業なので、面白いことができますよ。

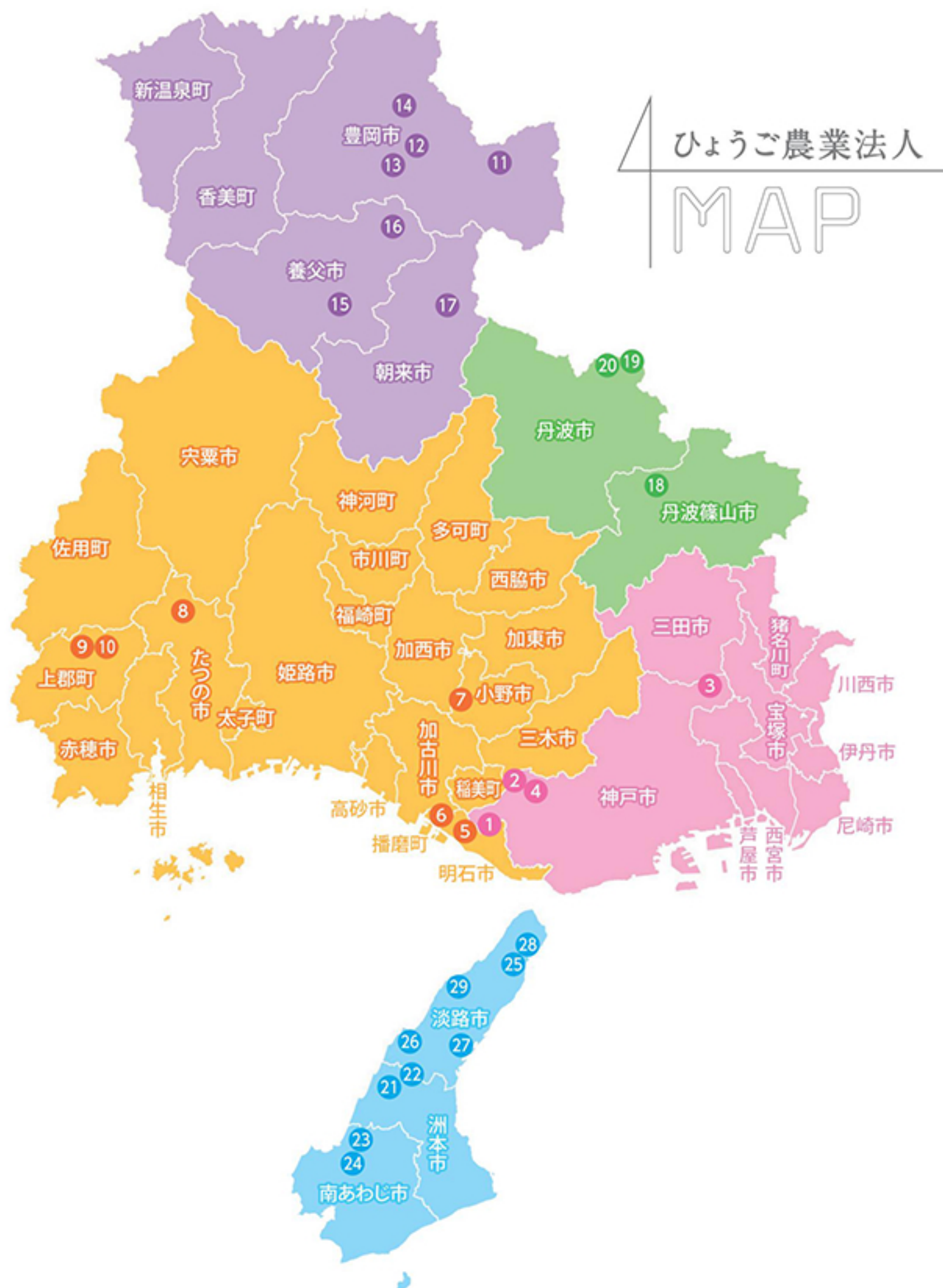


所在地 〒656-1501
淡路市尾崎1116-1
TEL/FAX TEL.0799-70-4232 FAX.078-330-4147
HP <https://www.freshherb.jp/>
設立 2015年4月
資本金/売上高 300万円/9000万円
従業員数 社員5人、パート6人
雇用環境 社会保険制度(健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金)あり
週休2日のシフト制、人事評価制度あり、
資格取得補助制度あり、Wi-Fiあり、
1人1台パソコン支給、
休憩室あり

インターンシップ 随時受付



企業ホームページ



ひょうご農業法人

MAP

- | | |
|--------|--|
| 振
津 | <p>① 農事組合法人 うすなが農畜産組合</p> <p>② 株式会社 トーホーファーム</p> <p>③ 株式会社 東馬場農園</p> <p>④ 有限会社 べこ</p> |
| 播
磨 | <p>⑤ 橋本農園 株式会社</p> <p>⑥ 兵神機械工業株式会社 兵神ファーム</p> <p>⑦ 北山農産 有限会社</p> <p>⑧ 株式会社 フジ工房 新千農園</p> <p>⑨ 株式会社 N.G.C.</p> <p>⑩ 有限会社 レイ</p> |
| 但
馬 | <p>⑪ 有限会社 植田農園</p> <p>⑫ 有限会社 グリーンいずし</p> <p>⑬ 株式会社 Teams</p> <p>⑭ 中谷農事組合法人</p> <p>⑮ 株式会社 Amn a k</p> <p>⑯ 株式会社 トーヨー養父農業生産法人</p> <p>⑰ 株式会社 緑の風農場</p> |
| 丹
波 | <p>⑱ 農事組合法人 丹波たぶち農場</p> <p>⑲ 株式会社 耕す丹波農場</p> <p>⑳ ひょうたん農場 株式会社</p> |
| 淡
路 | <p>㉑ S D F 株式会社</p> <p>㉒ 有限会社 新家青果</p> <p>㉓ 株式会社 A & H</p> <p>㉔ 有限会社 三田青果</p> <p>㉕ 株式会社 淡路の島菜園</p> <p>㉖ 株式会社 池上農場</p> <p>㉗ 株式会社 金岡光輝園</p> <p>㉘ 株式会社 K.ファーム</p> <p>㉙ 株式会社 フレッシュグループ</p> |

問い合わせ先

インターンシップの
問い合わせもこちら

● (一社) 兵庫県農業会議・ ひょうご就農支援センター 「就農相談窓口」

相談日 月曜～金曜
(祝祭日、年末年始(12/29～1/3)を除く)

相談時間 9:00～11:00、13:00～16:00
(事前に電話で予約をお願いします)

交通 JR元町駅・阪神元町駅から徒歩5分、
神戸市営地下鉄県庁前駅から徒歩2分

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-15-3
兵庫県農業共済会館3階
TEL:078-391-1222 FAX:078-391-8755
<http://www.hyogo-shunou.jp/>



発行 兵庫県農業経営法人化推進協議会

(一社) 兵庫県農業会議・兵庫県農政環境部

